

EDS-NETWORK地域研修会  
～家族や支援者を支える・そだてる実践を学ぶ～

# EDS-NETWORK のご紹介

NPO法人ADDS 共同代表 熊仁美

はじめに



# 自己紹介

熊 仁美

特定非営利活動法人ADDS共同代表

江戸川区発達相談・支援センター長

博士（心理学）

慶應義塾大学社会学研究科訪問研究員

日本女子大非常勤講師

法政大学兼任講師

## ●発達心理学

人の生涯の発達を通じて、その心身のはたらきをどのように変化させていくか、その発達をどのように支援すればよいかなどを研究する学問です。

●**応用行動分析学**人間の行動を科学的に研究し、人間理解・人間生活の様々な課題解決に取り組む学問です。人間の「行動」を「環境」との相互作用の視点から捉えます。

15年にわたり、発達障害とされるお子さん達、親御さんたちの支援に携わってきました。



Advanced Developmental  
Disorders Support

## 研究成果に基づいた 手法を選択すること

わたしたちは、国際的な研究成果に基づいた支援を行います。記録に基づき具体的な目標を立て、達成度を見極め、支援方法を進化させていくPDCAのサイクルを繰り返します。子どもの豊かな学びに徹底的に向き合う方法論です。

## 保護者とともに 取り組むこと

わたしたちは、保護者は子どもの一番の専門家になれると信じています。子どもが学ぶ過程をしっかりと共有し、その親子らしい学びのスタイルとともに築くことを大切にしています。

## 地域に変化を 起こすこと

子どもたちは、かかわる人や環境から様々なことを学びます。わたしたちは、すべての人が、子どもたちの良き理解者、支援者となる社会の仕組みづくりに取り組んでいます。

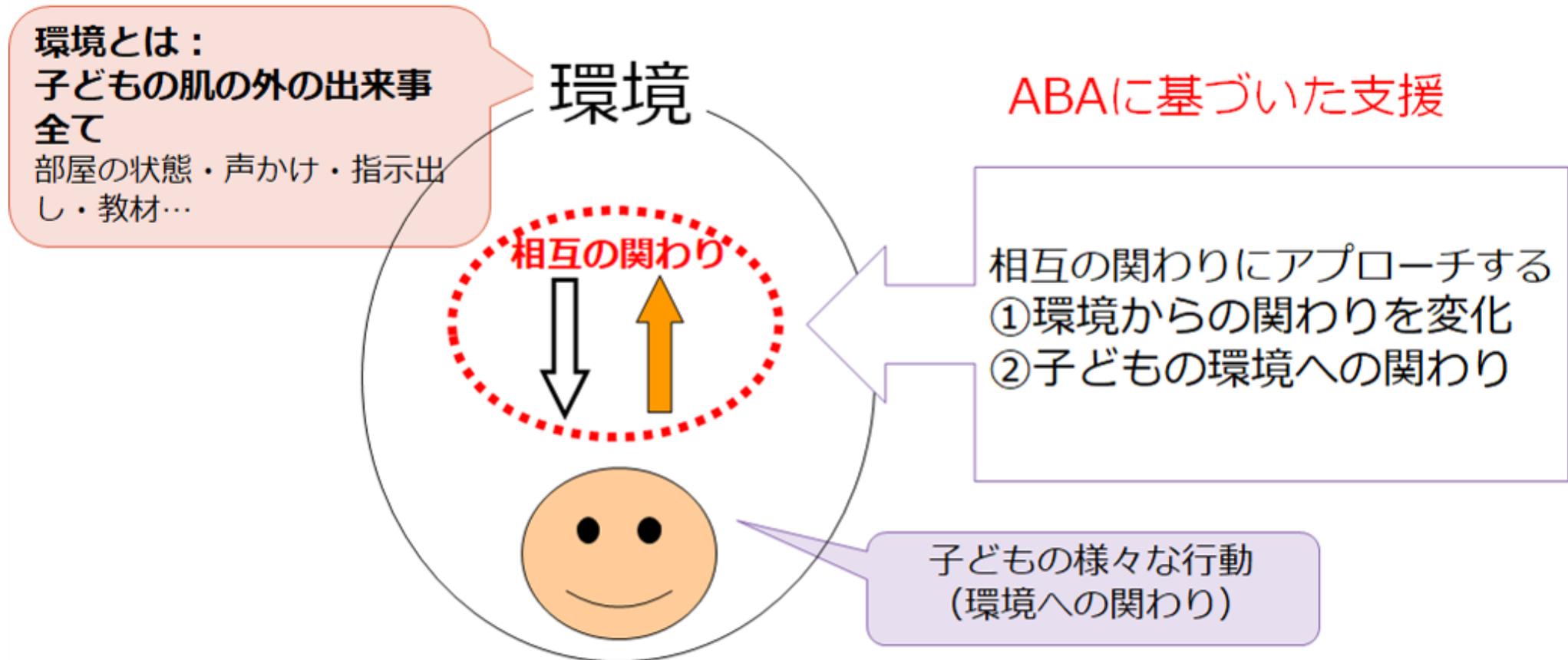


わたしたち  
の想い

発達障害またはその疑いのある  
すべての子供たちが  
生まれた環境に左右されず  
可能性を最大限に広げられる社会を実現する

# 解決できる問題を整理し、支援する ー応用行動分析に基づく支援

- 行動の法則性を明らかにする基礎学問「行動分析学」から派生した心理学
- 行動の原因を「個人の心の中」でなく、「個人と環境の関わり」に求める。



# グローバルスタンダードな支援

## Recommendations for Practice and Research

Zwaigenbaum, L. et al. (2015)  
-American Academy of Pediatrics (米国小児学会)

- 発達の・行動的手法を組み合わせた介入の早期開始
- 家族や養育者の積極的な療育への関与

AAP News & Journals  
Gateway

Pediatrics  
October 2015, VOLUME 136 / ISSUE Supplement 1

### Early Screening of Autism Spectrum Disorder: Recommendations for Practice and Research

Lonnie Zwaigenbaum, Margaret L. Bauman, Deborah Fein, Karen Pierce, Timothy Buie, Patricia A. Davis, Craig Newschaffer, Diana L. Robins, Amy Wetherby, Roula Choueiri, Connie Kasari, Wendy L. Stone, Nurit Yirmiya, Annette Estes, Robin L. Hansen, James C. McPartland, Marvin R. Natowicz, Alice Carter, Doreen Granpeesheh, Zoe Mailloux, Susanne Smith Roley, Sheldon Wagner

Article | Figures & Data | Info & Metrics | Comments

[Download PDF](#)

#### Abstract

This article reviews current evidence for autism spectrum disorder (ASD) screening based on peer-reviewed articles published to December 2013. Screening provides a standardized process to ensure that children are systematically monitored for early signs of ASD to promote earlier diagnosis. The current review indicates that screening in children aged 18

NEW 2ND EDITION!  
Sports Medicine  
in the Pediatric Office  
Effectively treat musculoskeletal and sports injuries with this how-to-



Contents lists available at ScienceDirect

## Research in Autism Spectrum Disorders

journal homepage: [www.elsevier.com/locate/rasd](http://www.elsevier.com/locate/rasd)



One-year outcomes of low-intensity behavioral interventions among Japanese preschoolers with autism spectrum disorders: Community-based study(2020)

Hideyuki Haraguchia, Honami Yamaguchib, Atsuko Miyakec, Yoshiyuki Tachibanad, Andrew Stickleye, Mari Horiguchif, Masahiko Inoueg, Fumiyuki Noroh, Yoko Kamio

- 低密度ABA(平均週5.5時間)と非行動的折衷的介入の比較
- 低密度ABA群の方が言語と社会的発達伸びが大きい
- **個別**の療育時間は言語とコミュニケーションスキルの伸びと関連する
- たとえ**低密度でもABAの実装が有用**である可能性が示唆

# エビデンスを現場で活用する

- 発達障害（とくに自閉症スペクトラム）の子ども達の言語・認知・行動問題、社会性等の発達を促進するために
- 家族支援（ペアレントトレーニング）
- 応用行動分析（ABA）に基づいた支援（理論的ベース）
- 早期かつ個別の支援
- 発達心理学に基づいたプログラム

# 原点はここ

日本に帰って一番辛いことは、我が子への療育環境がアメリカでいた頃のように整わないことかな、と思っていました。でも、帰ってきたら違いました。

私がアメリカで体験して学んだようなことを、子どもが幼稚園になるような年齢まで知らない人が数多くいて、多くのお子さんの可能性が失われていることが、一番辛かったです。

今も、そのことが1番辛いです-----

共同代表である竹内が学生の時、自閉症の支援を始めるきっかけとなった保護者の方からのお手紙です。

日本では欧米諸国に比べて、科学的に効果が実証されている療育を受けられる環境が不足しています。

「支援者が圧倒的に少ない現状を変えたい」

「すべての子どもに効果的な療育を届けたい」

その思いが、このプロジェクトの原点です。



# 親子共学型療育プログラム「ぺあすく」の流れ

週1回80分

1週間の振り返り・相談

OJT  
型

療育実践タイム

ABAに基づく個別指導



E-learning講習(15分)



個別療育結果の報告

家庭療育練習タイム

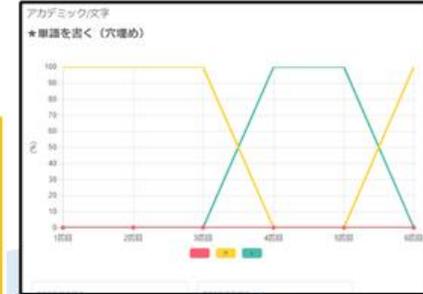
記録送信



家庭療育の実施

1週間

発達課題と教材共有





EDS  
-NETWORK ●  
の背景



28年度研究開発成果実装支援プログラム採択

エビデンスに基づいて保護者とともに行う  
発達障害児の早期療育モデル  
実装プロジェクト

既存の制度を活用し、エビデンスに基づいた早期療育の持続的な地域モデルを確立し、全国への普及を目指す。

# 3つのプログラム

1

保護者  
エンパワメント  
型  
療育モデル



2

包括的早期療育  
システム  
AI-PAC

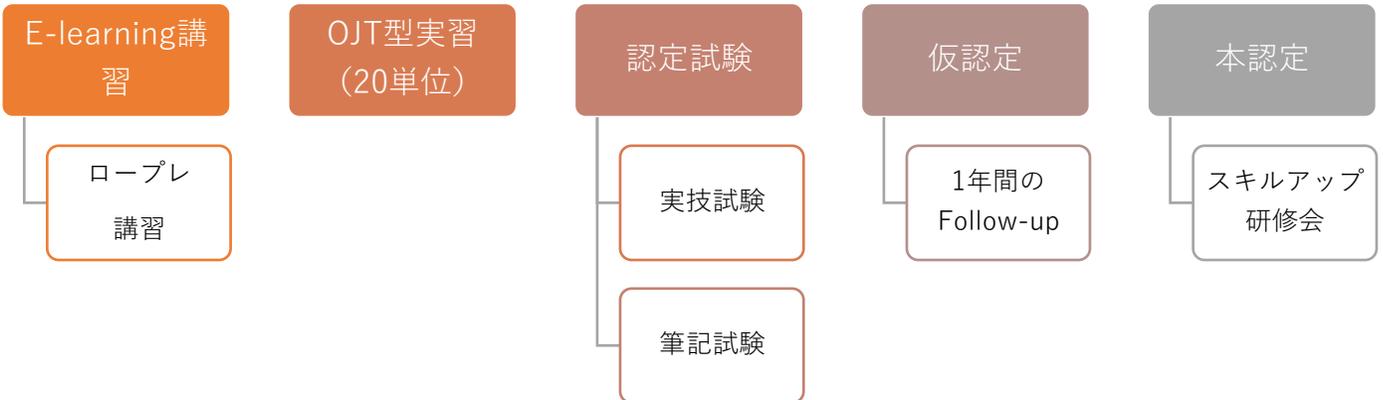


3

初級ABA  
セラピスト  
養成研修



# 初級ABAセラピスト認定研修 による人材育成



認定  
51名

- ・操作性の向上
- ・e-learningや教材の内蔵化
- ・記録やデータ共有機能の追加
- ・家庭連携の強化

共有・連携



## 直感的な発達評価・カリキュラム構成



学びのコンテンツ  
(e-learning)

基本俯瞰図

選択モード: ターゲット マスター

オプション課題: スクールスキル 生活スキル 様々な運動

学習基礎	自己統制	強化子の交換	強化子の回収	1試行1強化	ランダム強化	トークン(DTT)	カウントダウン	タイマー	おしまいの理解	まだだよなんて	順番言葉	写真スケジュール	文字スケジュール	トークン(日常)
学習基礎	模倣・動作	手へのリーチング	手へのリーチング(色々な位置)	粗大模倣(上半身)	粗大模倣(身体部位)	操作模倣(1選択)	操作模倣(2選択)	微細模倣(顔周り)	微細模倣(手指)	立った状態の動き	模倣の維持	様々な全身運動	左右の分化	左右非対称
学習基礎	模倣・音声	道具を介した口辺模倣	口辺模倣	単音模倣	単語模倣	連続した数や単語	句や文の模倣	リズム模倣(音声)	プロソディ(大小)	プロソディ(高低)	プロソディ(抑揚や速度)			
学習基礎	注意・流域性	追視(物)	追視(隠れた物)	追視(指で追う)	手作業フラッシュ	エコーフラッシュ	模倣フラッシュ	マッチングフラッシュ	動作指示フラッシュ	受容フラッシュ	命名フラッシュ	ランダム指示フラッシュ	瞬間提示	
学習基礎	遊び	感覚(味わう)	感覚(触る)	感覚(開く)	感覚(見る)	身体遊び	玩具の操作	タブレット遊び	手遊び歌	ボール転がし	絵本読み聞かせ	やり返し	違いかけっこ	おまごっこ
コミュニケーション	社会性	課題実施前の目合わせ	応答型共同注意(指さし)	応答型共同注意(首)	応答型共同注意(視線)	観察反応(声)	観察反応(様々な呼びかけ)	社会的参照	始発型共同注意(経験共有)	協調的動作への注目	社会的強化への注目	内発的強化	ペアリング	
コミュニケーション	要求	リーチング(物)	援助要求(クレーン)	援助要求(手渡し)	要求のアイコン/PECS	見えるものを要求(サイン)	見えるものを要求(音声)	どっち?で選択(指さし)	遠くのもの指さす	名詞の分化	2語文要求(おちようだい)	見えないものを要求	動詞の分化	
コミュニケーション	受容・語彙	日常文脈での指示	ジェスチャー+物で反応	ジェスチャー無しで物に反応	名詞(初級)	名詞(離れたところ)	名詞(探す)	キャラクター	人物	場所	動詞(初級)	色	形	
コミュニケーション		持っている	指さされたものを渡す	タッチに反応	キャラクター	人物	場所	動詞(初級)	身体部位	色	形	名詞(中級~上級)	表情	
コミュニケーション					2語文(色)	事象の	疑問詞(色)	疑問詞(場所)	疑問詞(身体部位)	疑問詞(色)	疑問詞(形)	疑問詞(物)	疑問詞(物)	

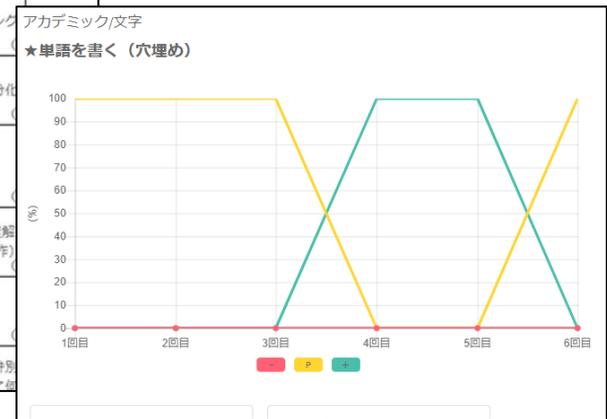


教材

商標「AI-PAC」  
特許出願中  
(教育ソフトウェア)



簡易な記録



療育結果のみえる化

**RISTEX** 本研修会は、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究開発成果実装支援プログラム」による成果の一部として開催します（詳細）。

後援：横浜市 後援：横浜市子ども青少年局

### 発達に気になる子のための地域研修会

## 地域療育センターにできる超早期のお子さん と保護者への支援

日時会場 2017年 10月29日 9:30-12:30

神奈川県総合薬事保健センター 303-304号室  
〒235-0007神奈川県横浜市磯子区西町14-11（JR横浜線より徒歩2分）

### プログラム

9:30~11:15  
超早期の親子支援  
～子と親の相互作用を支援する～  
講師：井上 祐紀 氏  
横浜市南部地域療育センター所長

11:30~12:30  
保護者を取り組む早期療育  
～ABAに基づく個別の支援～  
講師：竹内 弓乃 氏  
特定非営利活動法人ADDS共同代表・臨床心理士

参加ご希望の方は10/25（木）までに  
①お名前 ②ご所属 ③ご連絡先 をご明記の上  
[addsjsssteam@gmail.com] へご連絡ください

※得られた個人情報については、本研修会に関わる連絡のみ使用し、講演会終了後速やかに破棄させていただきます

**RISTEX** 本研修会は、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究開発成果実装支援プログラム」による成果の一部として開催します（詳細）。

後援：ADDS 千葉県市川市 共催：NPO法人ADDS

### 児童発達支援 にじいろテイズ市川新田主催

## 地域で行うABA個別療育 と保護者支援

日時会場 2019年 8月16日 14:00-16:30  
市川市文化会館 第5会議室  
〒272-0025 千葉県市川市大和田1-1-5  
（JR東武線/有楽町線より徒歩10分 京成線/有楽町線より徒歩10分 京葉線/有楽町線より徒歩10分）

対象 療育・教育関係者  
※定員になり次第締切 費用 500円

内容 科学技術振興機構の支援を受け、にじいろテイズ市川新田で取り組むABAに基づく早期療育支援についての研修会です

14:00~15:30  
保護者を取り組む早期療育  
にじいろテイズの実践  
講師：熊 仁美 氏（心理学博士/NPO法人ADDS共同代表）  
事業所紹介：中田 瑠菜 氏（にじいろテイズ 管理者・児童発達支援士）

15:40~16:30  
発達障害体験と応用行動分析（ABA）  
に基づく個別支援ワークショップ

8/10（木）までに「研修会参加希望」と明記のうえ、  
①お名前 ②ご所属 ③ご連絡先 をご明記の上  
[contact@nijirodays.net] へご連絡ください

※得られた個人情報については、本研修会に関わる連絡のみ使用し、講演会終了後速やかに破棄させていただきます

横須賀市市民協進推進補助金事業 公開セミナー

### 発達への凸凹、困った行動にどう対応する？ 子供の可能性を引き出す・育む 地域支援環境づくり

対象：障害の有無を問わず未就学児・小学生の保護者、保健師、教育関係者、学童・福祉など子育て支援に関わる全ての方

日時 2020年2月29日（土）10:00~15:00（受付：9:40~）  
会場 横須賀市北下浦コミュニティセンター 3階集客室  
横須賀市長沢2-7（京急長沢駅徒歩5分）  
託児 25名（障害の有無問わず未就学児のみ先着順、小学生以上は応相談）  
申込 QRコードにある受付フォーム、または様名を「公開セミナー」とし、Eメール受信可能なアドレスで事務局・高橋（info@ie-kids.com）まで

参加費 無料

主催 トータスキッズ（NPO法人ファミリア内）  
協力（託児） 北下浦民生委員・児童委員協議会、北下浦社会福祉協議会  
後援 横須賀市

詳細・お問合せ： トータスキッズ（担当：高橋）  
MAIL: info@ie-kids.com  
TEL: 046-874-7876（受付時間：平日9:30-17:00）

**RISTEX** 本研修会は、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究開発成果実装支援プログラム」による成果の一部として開催します（詳細）。

共催：NPO法人 ADDS

### 特定非営利活動法人EPO ぶりんぐあっぷ主催

## 地域で行うABA個別療育 と保護者支援

日時会場 2018年 1月20日 9:30-12:30  
ぶりんぐあっぷ ちば子ども発達センター  
〒261-0003 千葉県美浜区高浜3-3-1 ☎043-001-4570

対象 療育・教育関係者  
※定員になり次第締切 費用 2000円

内容 科学技術振興機構の支援を受け、ぶりんぐあっぷちば子ども発達センターで取り組むABAに基づく早期療育支援についての研修会です

9:30~11:15  
保護者を取り組む早期療育  
ぶりんぐあっぷちば子ども発達センターの実践  
講師：加藤 愛理 氏  
（臨床発達心理士/NPO法人ADDS理事）

11:30~  
応用行動分析

ご予約お問い合わせ

**RISTEX** 本研修会は、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究開発成果実装支援プログラム」による成果の一部として開催します（詳細）。

後援：横浜市子ども青少年局 共催：児童発達支援マルシェ

### 専門家&先輩保護者と学ぶ！

## 親子で取り組む早期療育 -エビデンスに基づいた関わりで 子どもの発達と可能性を広げる-

日時会場 2018年 9月9日 10:00-12:00  
ハウスクエア横浜セミナールームB  
横浜市港地下鉄ブルーライン「中川駅」徒歩2分  
〒224-0001 神奈川県横浜市都筑区都筑区4丁目1-4-1

対象 発達に気になる未就学のお子さんを育てる保護者 費用 無料

内容 エビデンスに基づく早期療育を家庭で楽しく実践するためのワークショップと先輩保護者の療育体験談講演、子育てや療育、就学に至るまで様々な質問を受けながらパネルディスカッションを行います。

10:00-11:00  
家庭で取り組む早期療育-子どもの  
できた！を生み出す実践ワーク-  
講師：熊 仁美（心理学博士）ADDS

11:00-12:00  
先輩保護者に学ぶ-家庭療育のリアル

**RISTEX** 本研修会は、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究開発成果実装支援プログラム」による成果の一部として開催します（詳細）。

共催：障害児通所支援事業所 ままことテラス・ままとこルーム

### 専門家から学ぶ！

## 発達障害体験を通じて -エビデンスに基づいた教え方を学ぼう-

日時会場 2019年 8月6日 10:00-12:30  
市民会館シアーズホーム夢ホール 会議室  
熊本交通センター「バスセンター」徒歩2分  
〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町1番3号 TEL 096(355)5235

対象 発達に気になる未就学～小学低学年のお子さんを育てる保護者  
※定員になり次第締切 費用 無料

内容 発達障害体験を通じて早期療育の必要性や教え方を学び、ご家庭で子どもたちの発達を伸ばし、問題行動を予防するための方法をお話しいたします。

10:00-11:20  
幼児期～学童期のコミュニケーション  
と問題解決  
講師：山本 淳一（慶應義塾大学 文学部 心理学専攻 教授）

11:20-12:30  
発達障害体験ワークショップ  
エビデンスに基づく早期療育とは  
講師：熊 仁美（心理学博士/NPO法人ADDS共同代表）

7/31（木）までに「熊本研修会」と明記のうえ、  
①お名前 ②ご所属 ③ご連絡先 をご明記の上  
[addsjsssteam@gmail.com] へご連絡ください

※得られた個人情報については、本研修会に関わる連絡のみ使用し、講演会終了後速やかに破棄させていただきます

**RISTEX** 本研修会は、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究開発成果実装支援プログラム」による成果の一部として開催します（詳細）。

後援：ADDS 千葉市 共催：NPO法人ADDS

### 特定非営利活動法人EPO ぶりんぐあっぷ主催

## ABAちば地域研修会 ～応用行動分析に基づく取り組みを 明日実感できるための具体的な方法とは～

日時会場 2020年 2月2日 10:00-15:00  
9:30分受付開始  
ぶりんぐあっぷ ちば子ども発達センター  
千葉市療育センター ふれあいの家 会議室  
〒261-0003 千葉県美浜区高浜3-3-1 ☎043-301-4570

対象 療育・教育関係者  
※定員になり次第締切 費用 2000円

内容 応用行動分析に基づく早期療育支援実践報告  
地域の支援者の皆様へ、明日から使える問題行動へのアプローチ実践体験会  
参加者のお困りの事例を取り上げてグループワーク

10:00~11:00  
エビデンスに基づいて保護者とともに取り組んできた  
早期療育「べあすく」の展開 千葉地域実践報告  
講師：山本 淳一 氏（慶應義塾大学 文学部 心理学専攻 教授）

11:10~15:00（昼休60分）※  
明日から使える問題行動へのアプローチ実践ワークショップ  
講師：熊 仁美 氏（心理学博士/NPO法人ADDS共同代表）

※12:00~13:00  
昼休みの際、ご希望の方は施設内見学をご案内いたします。  
昼食をご希望の方は、申し込みフォームにて御座います。

※得られた個人情報については、本研修会に関わる連絡のみ使用し、講演会終了後速やかに破棄させていただきます

**RISTEX** 本研修会は、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究開発成果実装支援プログラム」による成果の一部として開催します（詳細）。

横浜市 後援：横浜市子ども青少年局 共催：児童発達支援マルシェ  
キッズライン

### 専門家&先輩保護者と学ぶ！

## 親子で取り組む早期療育Ⅱ -エビデンスに基づいた関わりで 子どもの可能性を広げる-

日時会場 2020年 2月9日 10:00-13:00  
ビジョンセンター横浜 3F301号室  
「横浜駅」西口から徒歩5分  
〒220-0004神奈川県横浜市西区北幸2-5-15フレミア横浜西口ビル

対象 保護者、療育関係事業所職員  
幼稚園・保育園・学校関係者 費用 500円  
（当日お支払い）

内容 一人ひとりに合わせた、確かな根拠に基づいた療育を子どもたちとそのご家族に届けること、同じゴールを目指して協働する、ADDS、児童発達支援マルシェ、キッズラインがチームを組んで、横浜で地域研修会を開催いたします。

第一部 エビデンスに基づく早期療育：  
親子のポジティブな相互作用を支援する  
講師：熊 仁美（ADDS共同代表）

第二部 先輩保護者に学ぶ：  
家庭療育のリアル、学校との連携  
講師：加藤 良子（マルシェ療育相談部長）

第三部 子育てに役立つ体験型講座：  
子どものいのちとご探生をしよう  
講師：山本 崇博（キッズライン代表）

ご予約お問い合わせ 1/31（木）までに児童発達支援マルシェホームページ  
[2月9日研修会申込みフォーム] からお申込みください  
http://www.alongez.jp/

※得られた個人情報については、本研修会に関わる連絡のみ使用し、講演会終了後速やかに破棄させていただきます

**RISTEX** 本研修会は、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究開発成果実装支援プログラム」による成果の一部として開催します（詳細）。

NPO法人子育てネット

### 地域の子 2019年 10月18日 10:00-12:00 （受付 9:40~）

会場 普通寺市総合会館 3F 学習室  
〒765-0013 香川県普通寺市文京町2丁目1-4  
※JR普通寺駅より徒歩約5分  
※駐車場満車の場合は、普通寺市役所をご利用ください

対象 発達に気になるお子さんの保護者  
療育関係者、療育に興味のある方  
※定員になり次第締切

参加費 500円

講師 野崎 晃広 氏  
四国学院大学 心理学部 教授  
NPO法人ADDS共同代表

9:30-11:00 「発達に気になるお子さんの可能性を引き出す応用行動分析学」 慶応義塾大学 山本淳一 教授  
11:00-12:00 「障害や子育てで活かせるABA」 子育てネット<>> 副理事・四国学院大学 野崎晃広 教授  
12:00-13:00 お昼休憩  
13:00-14:00 「エビデンスに基づいた保護者とともに取り組む発達障害児の早期療育へあすく」の取組みと効果  
NPO法人ADDS 共同代表 竹内弓乃 氏  
14:00-15:10 個別報告「べあすく」実践報告～各地プロジェクトチーム協力団体より～  
まじい（豊田）・児童発達支援センター10-かりの森（兵庫県）・児童発達支援トータスキッズ（神奈川県）  
15:10-15:20 休憩  
15:20-15:40 NPO法人バレンタインメンターかがわの取組み コーディネーター 豊田英子 氏  
15:40-16:00 質疑応答・総括・終了

※得られた個人情報取り扱いについては本研修会に関わる連絡のみ使用し研修会終了後速やかに破棄させていただきます。

お申込み MAIL jimu@k-kusu.com LINE  
セミナー参加希望 ①氏名 ②電話番号 ③ご所属

会場 香川県普通寺市文京町3丁目2番1号四国学院大学6号館2F223教室  
※お申込みは大学専用 無料 または普通寺市市民会館（無料）をご利用下さい。  
但し、会場が満席の場合は、お申込みの受付順で先着順で参加者を出発させていただきます。

参加費 2,000円 先着100名 ※学生の方は学生証の提示で無料でご参加いただけます。

お問合せ NPO法人子育てネット<>> TEL 0877-64-0580（受付時間：9:00~17:00）  
JST/RISTEX一部活動事業・（公財）アロマプロジェクト日本財団社会福祉ランディング賛助費金を一部利用しています

**RISTEX** 本研修会は、国立研究開発法人科学技術振興機構「研究開発成果実装支援プログラム」による成果の一部として開催します（詳細）。

後援：横浜市子ども青少年局 共催：児童発達支援マルシェ

### 学びの拠点化 地域研修会の共同開催 チラシフォーマット共有 自治体後援

日時会場 2019年 10月18日 10:00-12:00  
（受付 9:40~）  
会場 普通寺市総合会館 3F 学習室  
〒765-0013 香川県普通寺市文京町2丁目1-4  
※JR普通寺駅より徒歩約5分  
※駐車場満車の場合は、普通寺市役所をご利用ください

対象 発達に気になるお子さんの保護者  
療育関係者、療育に興味のある方  
※定員になり次第締切

参加費 500円

講師 野崎 晃広 氏  
四国学院大学 心理学部 教授  
NPO法人ADDS共同代表

10:00-11:20  
幼児期～学童期のコミュニケーション  
と問題解決  
講師：山本 淳一（慶應義塾大学 文学部 心理学専攻 教授）

11:20-12:30  
発達障害体験ワークショップ  
エビデンスに基づく早期療育とは  
講師：熊 仁美（心理学博士/NPO法人ADDS共同代表）

【k-adds@k-kusu.com】まで「地域研修会」と題してお申込み下さい  
①お名前 ②ご連絡先 ③ご所属 ④北希望利・熊（お子さんのお名前・月齢・アレルギ  
キ）を明記の上、お申し込みください。  
※得られた個人情報については、本研修会に関わる連絡のみ使用し、講演会終了後速やかに破棄させていただきます

# ぺあすくプログラム実装の成果

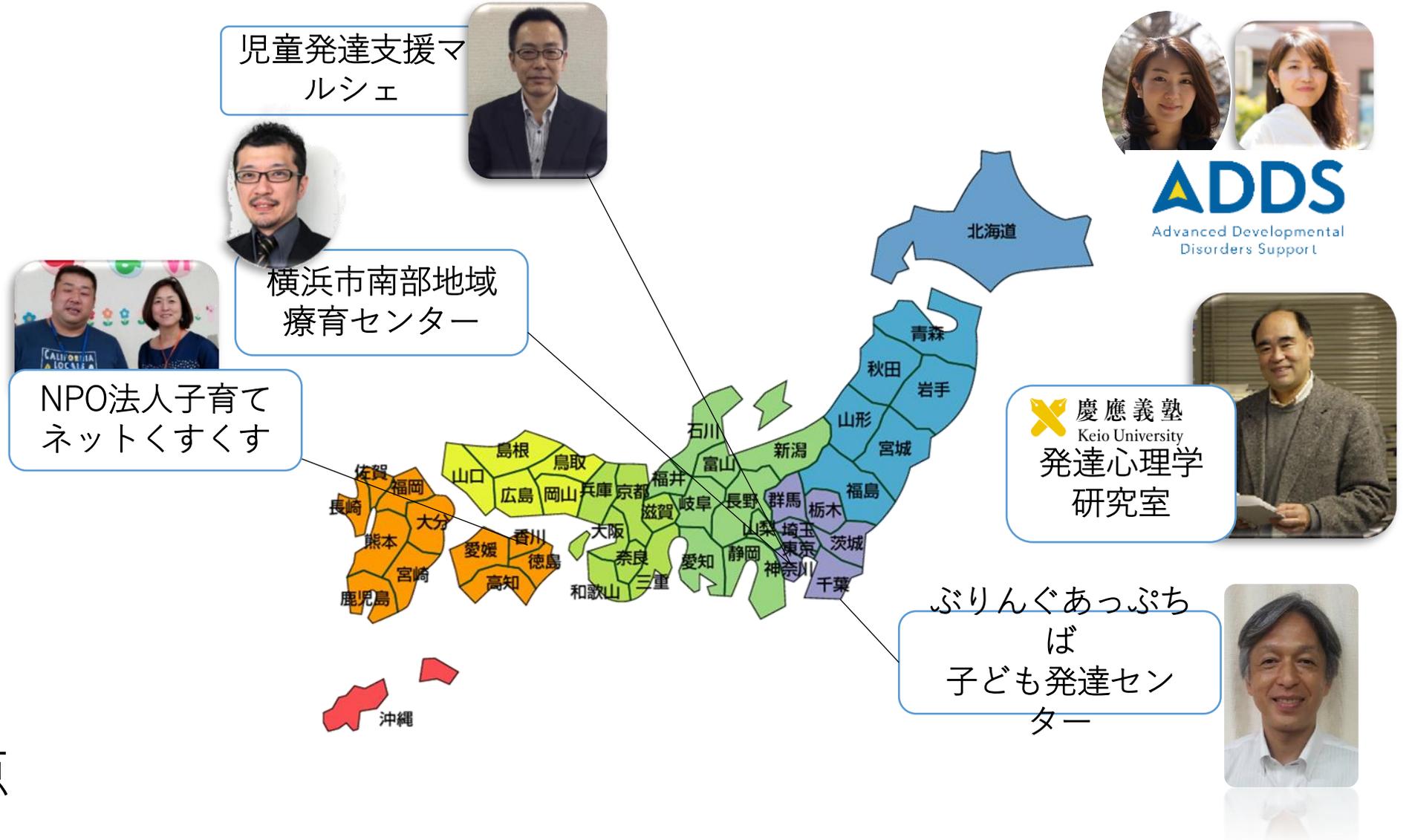
- 28年10月からの2年間で、約350家庭に提供が完了
- 6カ月×4期の安定した運用



350  
家庭

連携機関におけるぺあすくの様子

# 全国に広がる連携機関



4 拠点

実装中



社会福祉法人  
まっど育成会

全国に広がる連携機関

プロジェクト  
代表者



児童発達支援  
マルシェ



一般社団法人  
キッズライン



横須賀トータス  
キッズ



由比ガ浜こどもセンター内  
ADDS Kids 1st 鎌倉/  
ミライエ鎌倉共同企業体

横浜市南部地域  
療育センター



北海道

慶應義塾  
Keio University  
発達心理学  
研究室



NPO法人子育て  
ネットくすくす

MUFG  
三菱UFJリサーチ&コンサルティ

技術支援  
連携



児童発達支援センター  
ゆーかりの森

放課後等  
デイサービス  
ミライエ

ぶりんぐあっぷちば子  
ども発達センター



行政連携  
徳島県教育委員会  
特別支援学校での  
AI-PACの活用

江戸川区立発達相  
支援センター  
における実装

児童発達支援  
にじいろデイズ  
市川新田

15 拠点

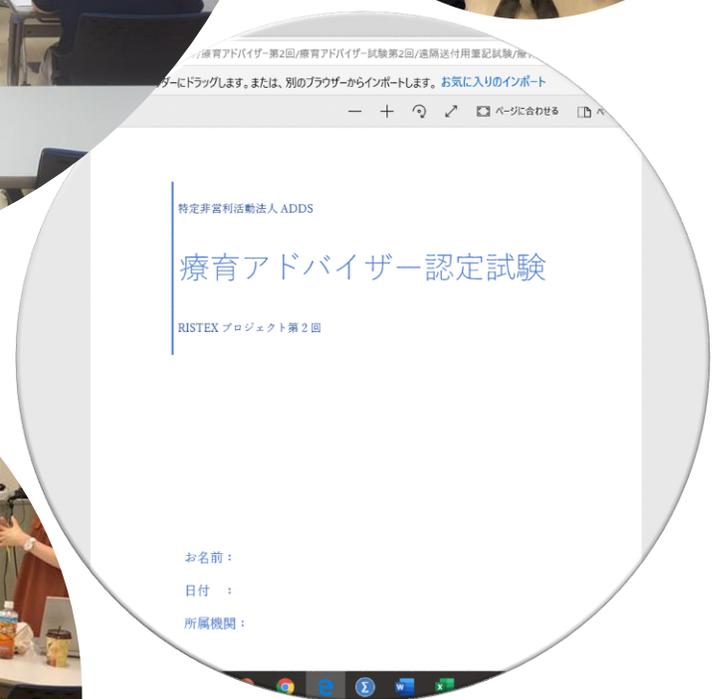


# 療育アドバイザー 養成研修

- 3日間25時間の集中研修  
→大学院レベルの学びを現場へ

- **評価項目**

- 応用行動分析学の知識
- 単一事例研究
- 療育実践
- 保護者対応
- 課題構成
- 支援者育成



# 定量的評価のまとめ

- 認知適応領域・言語社会領域で発達指数が増加した
  - 発達全般を促進する効果
  - 知的レベルが境界域に位置する参加児への効果大
- 育児ストレスは低下し、自己評価のスコアは増加した
  - 家庭療育は保護者のポジティブな変化に貢献
    - 療育の具体的な目標や成功体験、理論的裏付けが有効
  - 自閉度や育児ストレスの低下には参加児の知的障害が関連

支援効果の見通し

家庭療育は  
保護者支援である

知的障害の程度  
× 支援の厚み

# 公的機関への導入 (江戸川区)

- ・区立幼稚園跡地（2020年4月開設）

- ・江戸川区の特徴

M-CHATの導入

全年齢対応の相談センター

ベストプラクティスな

地域政策モデルの構築



## 発達相談・支援センター

施設管理 及び 企画能力	訓練（療育）内容、保護者支援、相談支援、地域支援、人員配置、人材育成、危機管理、施設管理、個人情報保護等	51.5	52.2	59.4
効率性	収支計画、効率的な運営体制	7.0	7.3	7.3
合計（配点100点）		72.8	73.9	81.1

▶ 2019年(平成31年)からの指定管理者集について【発達相談・支援センター】



### 選定理由

(1)財務状況は健全で安定している。

**(2) 科学的根拠のあるプログラムを用いた専門的な訓練（療育）を実践するなど豊富な経験を有する** 発達相談・支援センターが担う役割と地域の現状を十分に理解し、事業運営に係る効果的な提案があり、区内事業者等の支援においても質の向上が図られることが期待できる。

(4)効率的な運営体制による効果的な収支計画を提案している。



**EDS**

**-NETWORK**

**EVIDENCE-BASED DEVELOPMENT SUPPORT  
NETWORK JAPAN**

# EDS-NETWORK のロゴマーク

EDS-NETWORKとは？：「発達障害」という概念がなくなる未来にむけて

発達支援の担い手である私たちEDS-netは、子どもを中心にした家庭と社会のwell-beingを育むため

エビデンスに基づく科学的な学びを深め、全国の仲間と学びを共有し、互いを支え合える、発達支援のエコシステムをつくります。

## ロゴマークのデザインについて

EDS-NETWORKのロゴはの団体の上記の理念、目的、ビジョンを以下のように表現しています。

- 当事者である子どもを中心に、セラピスト、保護者が支える三位一体
- 「幸福(well-being)」の社会のイメージを、笑顔と○(丸)で、ムダなくシンプルに表現しています。
- カラーバージョンでは、「幸福(well-being)」の象徴カラーである黄色を使い、
- 子供が輝くことで社会全体が輝くイメージを表現。
- SDGsのホイールを想起させることで、「誰1人取り残さない」というメッセージも含ませています。



誰一人取り残さない  
leave no one behind



**EDS**  
-NETWORK

EVIDENCE-BASED DEVELOPMENT SUPPORT  
NETWORK JAPAN



# エビデンスと成果でつながる ネットワークの必要性

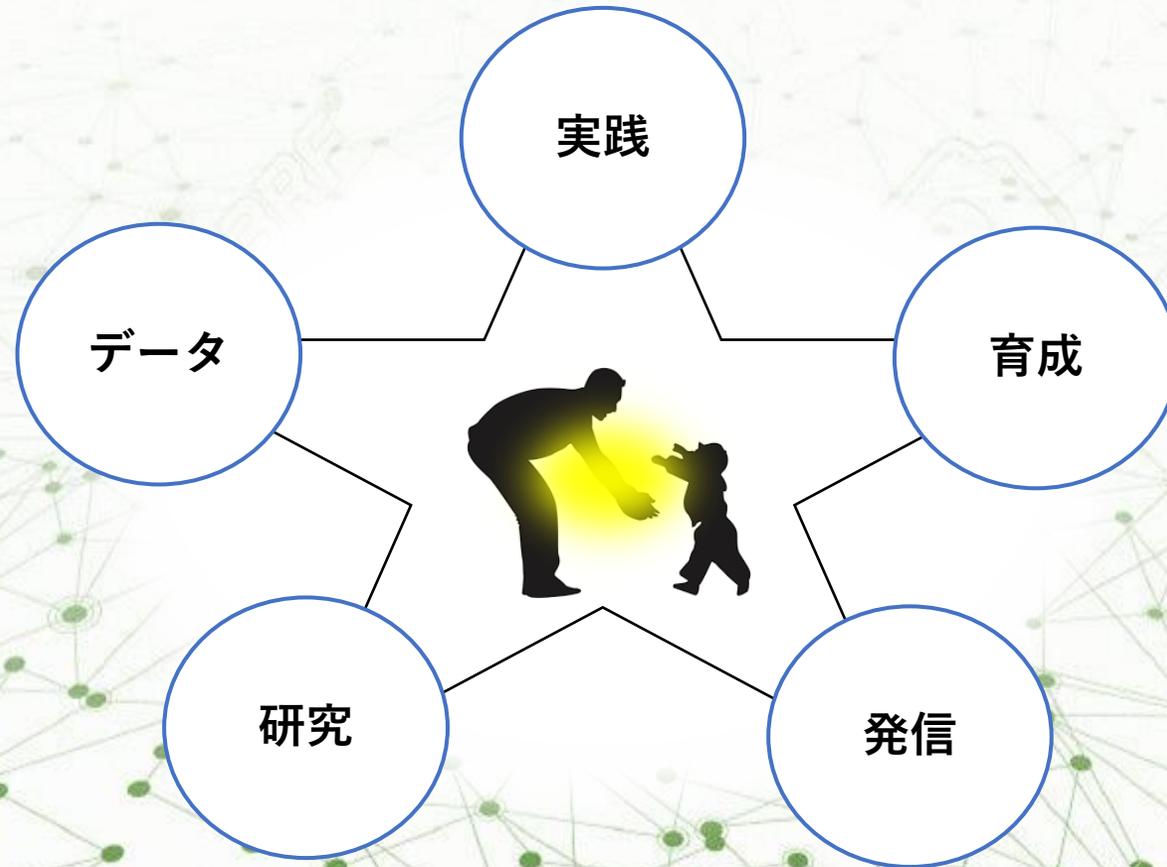
- エビデンス・成果が共通言語
- 成果に徹底的に、真摯に向き合う姿勢の共有
- 連携機関と協働し、地域で人が育ち、普遍的に質を維持できる仕組み



# エビデンスに基づいた発達支援 全日本ネットワーク (EDS-NET) 設立



# エビデンスと成果でつながる発達障害の 早期支援エコシステムの構築



# 「エビデンス」への向き合い方



学ぶ



活用する



創る

EDS-NET

のこれから



# 公認心理師の実習生受入

- 児童発達支援マルシェさん
- 公認心理師実習
- 学部生3名程度
- 3日間の見学



## 現状

- カリキュラムの設定
- 試験の作成
- 書式の整備etc

項目	内容	詳細	方法	対象
保護者	実習・研修同意書をかかず	事前同意・趣旨説明	口頭	学部生・院生 共通 (4日間)
学生	秘密保持契約・保険(?)	担当を持つ際の、個人情報やケガなどのリスクヘッジ検討	口頭	
1	発達障害の基礎知識	事前学習+小テスト	e-learning視聴or事前読書	
2	ABAの理論やDTTの基礎	事前学習+小テスト	e-learning視聴or事前読書	
3	アセスメント *時期次第	検査見学・K式発達検査の数値算出	ケース同席	
4	保護者対応の見学	困りごとやニーズの見極め	ケース同席+シート記入	
5	療育見学(個別)	プロンプトをいていた場面や方法の観察・記録	ケース同席+シート記入	院生のみ (24日間) *5~6ヶ月
6	療育見学(集団)		ケース同席+シート記入	
7	20単位の实習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケースの担当(部分的な実施ふくむ)</li> <li>・集団のST</li> <li>・ケースの準備、後片付け</li> <li>・教材の作成</li> <li>・検査のスコアリング</li> <li>・AI-PACを活用した課題更新</li> </ul>	ケース同席	

# EDS-NET新型コロナ対応 オンライン情報交換会



# エビデンスでつながる 発達障害支援者の学びの場をつくる

- 特定非営利活動法人ADDS（東京都）
- 対象：全国
- 目的：2018年より取り組んできた全国の支援機関とのネットワークを活用し、支援者同士の学びのプラットフォームを構築
- 助成金額：6,140,000円
- 助成期間：2021年3月～2022年2月

休眠預金等を活用し、  
約2.5億円の「新型コロナウイルス対応  
緊急支援事業」を開始。

# 実施項目

## 1. オンライン地域研修会の開催：

連携する機関が主催者となって、3～5回の小～中規模の研修会を開催する。

## 2. 研修資料の整理と共有保管庫の確保：

各地域で実施する研修資料や、療育用の教材の共有保管庫を作成し、連携機関が自由に活用できるようにする。

## 3. オンライン研修プラットフォームの開発：

基礎研修カリキュラムを作成し、オンラインで受講できるプログラムを開発する。それらをオンライン上で閲覧できるシステムの開発も行う。

## 4. 支援の質の相互チェックシステムの開発：

ガイドラインに沿ったチェックリストの作成を行う。

ご登録  
お願いし  
ます！

# エビデンスに基づいた発達支援 全日本ネットワーク(EDS-NET) プレマーリングリスト登録のご案内

- 研修会のお知らせや、一般会員募集の情報などのお届けを希望される方に向けたメールアドレス登録フォームです。
- ご希望の方は以下のURLまたはQRコードから必要事項を記入しご登録ください。
- 本フォームから収集した個人情報は、EDS-JAPANの活動に関連するご連絡のみに使用し、そのほかの用途には使用いたしません
- 登録フォーム

<https://forms.gle/DbB7pzYo1q3BkYiEA>



EDS-NETWORKのこれからを、  
よろしくお願い致します

ご清聴ありがとうございました。

NPO法人ADDS 共同代表 熊仁美